

会議名	第2回ミナコレ(MINATO COLLECTION)イベント管理運営等業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和5年5月12日(金曜日) 午前10時30分から11時30分まで
開催場所	港区役所3階産業・地域振興支援部会議室
委員	(出席者) 文化芸術事業連携担当部長 荒川 正行 産業・地域振興支援部地域振興課長 木下 典子 産業・地域振興支援部観光政策担当課長 宮内 宏之 企画経営部デジタル改革担当課長 多田 伸也 教育委員会事務局教育推進部図書文化財課長 齊藤 和彦
事務局	産業・地域振興支援部地域振興課文化芸術振興係
傍聴者	非公開のためなし
会議次第	1 開会 2 副委員長の選出について 3 第一次審査集計結果について 4 第二次選考について 5 第1回事業候補者選考委員会議事録について 6 閉会
配付資料	・議事次第 ・資料1 事業候補者選考委員会名簿 ・資料2-1 第一次審査採点集計結果 ・資料2-2 第一次審査評価点数集計結果 ・資料3 第3回事業候補者選考委員会進行スケジュール(案) ・資料4 第二次審査の実施に関する留意事項(案) ・資料5 第二次審査採点基準表(案) ・資料6 第1回事業候補者選考委員会議事録
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会 第2回ミナコレ(MINATO COLLECTION)イベント管理運営等業務委託事業候補者選考委員会を開会する。 議題に先立ち、選考委員の変更について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	・人事異動及び組織改正に伴う委員長・選考委員の変更について ・組織改正に伴い、副委員長の再指名について
委員長	何か質問、意見等あるか。
	(委員一同なし)
委員長	2 委員長・副委員長の選出について

	委員長が地域振興課長を副委員長に指名。
	(委員一同、異議なし)
委員長	3 第一次審査集計結果について 資料2-1 第一次審査採点集計結果の事務局採点項目について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	資料2-1の全ての事務局採点項目について、第1回事業候補者選考委員会です承を得た評価の視点をもとに評価をしたことを説明。
委員長	事務局採点項目について、何か質問等あるか。
E委員	1 基本事項の評価の専任性の評価が低い一方で、実施体制の安定性の評価が高いのはなぜか。
事務局	各項目について、第1回事業候補者選考委員会です承を得た評価の視点をもとに評価をしている。 評価の専任性は、業務責任者と業務担当者が他業務を何件担当しているかについて評価し、実施体制の安定性は、リスクを回避するための手法を1手法1点で評価した。 C事業者は、業務責任者と業務担当者が他の業務も担当している一方で、業務の継続性を維持するためのリスク回避の手法について、規定以上の記載が見られたため、高評価となった。
A委員	「資料2-1 第一次審査採点集計結果」の事務局採点の記載方法について、誰がみてもわかるよう修正したほうがよいのではないか。
事務局	記載方法について修正する。
委員長	他に何か質問等あるか。
	(委員一同なし)
委員長	次に、各委員が採点した部分について、評価したポイントなど、講評をお願いしたい。
B委員	A事業者の提案内容は、図解、写真等を効果的に使用し、興味深くわかりやすいが、本事業への理解及び利用者への配慮等について記載が見られなかった。例えば、WEB利用を強調するなら、デジタル弱者に対する配慮、料理を通じて国際交流を行うのであれば、大使館訪問への連携方法、アレルギー対応等について記載していただきたいかった。 B事業者の提案内容は、具体性を欠き、本事業への取組意欲について消極的に感じた。例えば、参加者得点等が若年層のみ対象としており、高齢者への配慮等がされていない、大使館等への交渉及び調整についても、記載内容が簡潔すぎるため、全体的にもう少し本事業の理解を深めた上で、具体的に提案していただきたいかった。 C事業者の提案内容は、事業実績を有するため、具体的でわかりやすく、本事業を継続するにあたっては、安心して任せられる事業者なのではないか。提案内容に対する疑問点については、今後、ヒアリング等で

	お伺いしたい。
D委員	<p>A事業者の提案内容は、充実し興味深いものの、所定の様式を使用していない、将来的に、リアルスタンプは廃止し、デジタルスタンプを活用していく等、本事業の主旨について理解不足を感じた。</p> <p>B事業者の提案内容は、過去の実績のみ記載しており、それを本事業にどうつなげるのか等が記載されておらず、本事業への取組意欲について、消極的に感じた。</p> <p>C事業者の提案内容は、発展性は感じられないものの、事業実績を有するため、具体的でわかりやすく、安定性を感じた。</p>
E委員	<p>A事業者の提案内容は、具体的でわかりやすいものであったが、ご提案いただいた独自の参加者特典の内容等に魅力を感じられない、リアルスタンプとデジタルスタンプの併用について記載がない等、本事業の主旨について理解不足を感じた。</p> <p>B事業者の提案内容は、各美術館・博物館等の短いプロポーション動画を作成する等、参加意欲の向上につながるような内容がみられたが、全体的に発注者の質問の意図を理解していないように感じた。</p> <p>C事業者の提案内容は、わかりやすく安定性を感じた。リアルスタンプとデジタルスタンプの併用についても、本事業の主旨をよく理解しているのではないか。</p>
C委員	<p>A事業者の提案内容は、スタンプラリーの部分で具体的な記載がない、デジタルスタンプへの誘導意図等、本事業の参加者のニーズには沿わない内容であった。</p> <p>B事業者の提案内容は、各美術館・博物館等の短いプロポーション動画を作成する等の魅力的な内容は見られるものの、デジタルを主流とする一方で、デジタル弱者への配慮等は見られない等、本事業への理解について消極的に感じられた。</p> <p>C事業者の提案内容は、やや発展性が感じられなかったが、柔軟性があり安定性があり、本事業の継続的な実施について評価できる内容であった。</p>
A委員	<p>各選考委員の評価と重複する部分が多い。</p> <p>A事業者の提案内容は、興味深いものの、実現性について疑問を感じた。</p> <p>B事業者の提案内容は、全体的に本事業の理解・関心等について疑問を感じる内容であった。</p> <p>C事業者の提案内容は、事業実績を有することもあり、安定性が感じられた。</p> <p>本事業について確実に実施していただけるのではないか。</p>
委員長	それでは、選考委員による意見交換をお願いしたい。

	他の選考委員の意見等をふまえ、自身の評価の修正及び変更等あるか。
D委員	他の委員の意見等をふまえ、C事業者の「大使館等の積極的な参加」、「独創性」の評価を、修正する。
C委員	他の委員の意見等をふまえ、C事業者の「他分野・地域資源との連携」、さ「区民等の視点の参加者特典」、「独創性・継続性について」の評価を、修正する。
委員長	他に採点の修正等あるか。
	(委員一同なし)
委員長	それでは、ただいまの議論をふまえた第一次審査集計結果について、事務局よりご説明をお願いしたい。
事務局	各事業者の最終結果について、 A事業者 566点、B事業者 414点、C事業者 708点となり、予め選考基準で定めている、加点部分を除いた満点 1,000 点の 60%の最低ライン 600 点を満たしているのは、C事業者のみである。
委員長	C事業者を、二次選考に進めてよいか。
D委員	二次選考に進むのが1事業者のみということは、C事業者で決定したということになるのか。
事務局	現時点で決定ではない。二次選考においても、満点 500 点の 60%最低ラインの 300 点を設けており、各選考委員による採点合計が最低ラインを満たしていない場合は、第二次審査不通過となる。
E委員	A事業者は2位だが、二次選考には進まないのか。
事務局	A事業者は 566 点であり、最低ライン 600 点を満たしていないため、不通過となる。
委員長	他に何か質問等あるか。
	(委員一同なし)
委員長	それでは、C事業者を、二次選考に進める。
	(委員一同異議なし)
委員長	4 第二次選考について 資料3 第3回事業候補者選考委員会進行スケジュール(案)、資料4 第二次審査の実施に関する留意事項(案)、資料5 第二次審査採点基準表(案)について、事務局からご説明いただきたい。
事務局	資料3～5について説明。
委員長	資料3～5について、質問・意見等あるか。
B委員	「資料4 第二次審査の実施に関する留意事項(案)」で、「第二次審査には、業務責任者が同行する。」旨の記載があるが、「資料5 第二次審査採点基準表(案)」で、業務責任者の経験・実績等について評価が必要な項目があるため、誰が業務責任者なのかを明確にしていた

	<p>だく必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>二次選考に進んでいただく事業者に通知文を送付する際、「資料4 第二次審査の実施に関する留意事項(案)」を同封するため、誰が業務責任者なのか明確にする旨を追記し、修正する。</p>
委員長	<p>他に何か質問等あるか。</p>
D委員	<p>「資料4 第二次審査の実施に関する留意事項(案)」で、「追加資料は認めないが、補足資料は認める。」旨の記載があるが、追加と補足の違いはなにか。</p>
事務局	<p>事務局では、追加は提出済資料と異なり新たな提案等を含むもの、補足は提出済資料の不十分な部分を補うものとした。</p>
D委員	<p>事業者により解釈が異なる可能性があり、補足資料を認めるのはいかがか。</p>
A委員	<p>二次選考の際、選考委員は、「資料5 第二次審査採点基準表(案)」の評価項目に基づき採点を行うため、事業者には評価項目に沿ったプレゼンテーションをお願いしたい。また、事業者により解釈が異なる可能性があるならば、公平性の面をふまえ、提出済資料によるプレゼンテーションを実施したほうがよいのではないか。</p>
事務局	<p>公平性の面をふまえ、「追加資料及び補足資料は認めない。」としてよいか。</p>
B委員	<p>二次選考に複数の事業者が参加する場合は、公平性の面より追加資料及び補足資料は認めないとしているものも多いため、「追加資料及び補足資料は認めない。」としていいのではないか。</p>
E委員	<p>例えば、提出済資料をわかりやすくするためのパワーポイント等であれば、認めるのはどうか。</p>
B委員	<p>他事業のプロポーザル選考委員の経験をふまえると、パワーポイント等の補足資料についても認めず、提出済の紙資料に基づいたプレゼンテーションを実施していただくとしているものが多い。</p>
B委員	<p>「資料5 第二次審査採点基準表(案)」の評価項目にそったプレゼンテーションをお願いしたい。</p>
D委員	<p>「ミナコレ(MINATO COLLECTION)イベント管理運営等業務委託事業候補者選考基準」3の(2)で、第二次審査の評価項目及び評価視点が記載されているため、そちらをふまえた提案をしていただいていることをふまえ、各様式に記載しきれなかった点について、二次選考の際に確認させていただきたい。補足資料は認めず、提出済の内容をふまえた上で、審査を実施するべきではないか。</p>
委員長	<p>以上の議論をふまえ、「追加資料及び補足資料は認めず、提出済資料に基づいたプレゼンテーションを実施する。」としてよいか。</p>
	<p>(委員一同異議なし)</p>

委員長	資料5について、質問・意見等あるか。
A委員	資料5の各項目の採点配点が同じ点数となっているが、区として特に重要視する項目について、配点を高くしたほうがよいのではないか。
E委員	業務趣旨の理解については、提出書類の中から読み取れるため、配点は低くしてもよいのではないか。取組意欲については、特にプレゼンテーション等で確認しやすい項目のため、配点を高くしてはどうか。
委員長	E委員の発言について、何か質問、意見等あるか。
	(委員一同、なし)
事務局	その旨、配点について修正する。
委員長	5 第1回事業候補者選考委員会議事録について 資料6 第1回事業候補者選考委員会議事録について、修正等あれば事務局までお願いしたい。
	(委員一同了承)
委員長	予定された議題は終了した。 最後に連絡事項について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	第3回選考委員会について(5月29日午後2時から)
委員長	事務局説明について、何か質問等あるか。
	(委員一同なし)
委員長	以上で、「第2回ミナコレ(MINATO COLLECTION)イベント管理運営等業務委託事業候補者選考委員会」を閉会する。